

アジア諸国における開発プロジェクトから
 持続可能な建築と革新的な都市について再考する

Theme

1

Klongsan Innovation District and New Development Opportunities

クローンサーン・イノベーション特区と新しい開発の機会

Summary

昨今のタイにおいて、イノベティブな地区開発による経済活性化を目指して、さまざまなプロジェクトの計画と特区の指定が提案されてきました。

バンコク市内にある特区のひとつであるクローンサーンは、広域な交通網と地域資源を兼ね備えた経済圏へと変化を遂げています。さらに、より多くの移住を促すために新しいプログラムが必要とされており、キングモンクート工科大学トンブリ校の学生のデザインと提案の例を紹介します。

Lecturers

Dr. Chamnarn Tirapas [Chairman of School of Architecture and Design, KMUTT]
 チャムナーン・ティラパス 講師 [キングモンクート工科大学トンブリ校大学建築デザイン学科]

Theme

2

Recent Studies on Residential Design

最近の住宅設計研究

Summary

過去数年にわたっておこなわれた研究の一部として、タイ、フィリピン、モンゴルにおいて数々の住宅設計プロジェクトが生まれました。

プレゼンテーションにて発表される建築デザインは、家庭での資源効率を高めるための実行可能な工夫を模索し、住人を考慮にいれたサステナブルな解決法を調査するものです。

また、ローカルな文脈を意識しながら、既存の状況に対して適応的な解決法を見つけるように建築をデザインするという受動的なアプローチをとっています。

Lecturers

Dr. Martin Schoch [PhD, School of Architecture and Design, KMUTT]
 マーティン・ショウ 講師 [キングモンクート工科大学トンブリ校大学建築デザイン学科]



Schedule

15:00-17:00, Wednesday 6 February - Friday 21 May, 2019
2019年2月8日[金] 15:00-16:30

Venue

2F Hall, KYOTO Design Lab, Kyoto Institute of Technology
京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 2Fホール

公開講演

申込不要・聴講自由・先着順

定員=50名